



2008年6月総会時撮影

# 子どもの国だより VOL.19

●放課後学習支援事業「ゆめの木教室」

小学生：月曜日～金曜日 午後2時～6時

●青少年の自立支援事業「そら」

水曜日：午後6時30分～8時30分

●青少年の健全育成のための事業

問題を抱えた子どもとその家族に対し、随時相談・援助を行なう

●交流会 奇数月第3土曜日：午後6時～8時

●「わくわく教室」 随時(但し土日と夏休み期間)

## 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」

～ より集中して学習できる環境のために ～

ゆめの木教室では、今年から学年によってゆめの木教室で学習する時間を変更しました。変更の目的は、スタッフの数が限られている中で、入室希望の子どもを可能な限り受け入れるためであり、子どもが学習に集中できる環境を作るためです。

基本的に 1～2 年生は 4 時半まで、3 年生は 5 時まで、4～6 年生と中学生・高校生は 5 時 45 分までに変わりました。(全員必ず、というわけではなく、子どもや保護者の事情などによって異なる場合もあります)

昨年度まで子どもたちは基本的に午後 6 時まで学年にかかわらず残っていました。早く学校から帰ってきた低学年の子どもが宿題を終わらせ遊びの時間になるころ、高学年の子どもが学校から帰ってきます。すると、高学年の子どもは学習になかなか集中できず、低学年の子どもが遊ぶのを見守るスタッフも必要でした。

今年度はこの時間変更により、スタッフは前半、低学年に集中し、学習が終わった低学年が帰った後半に、高学年をじっくり見ることができるようになりました。今年度ゆめの木教室に低学年の 3 人の新メンバーを迎えることができました。また、低学年の子どもにとっても、限られた時間内で宿題を終わらせなければならないと、いい緊張が出てきたと思います。

今年の夏休みも 2 時から 6 時までの活動時間の前半を低学年、後半を高学年に分けて実施しました。大きな混乱もなく、子どもたちも落ち着いて学習できたと思います。学習が終わった後、子どもたちは楽しそうにゲームなどをやって遊んでいて、帰る時間になると「え～まだ帰りたくない！」と口々に言います。うれしく思いますが、心を鬼にして帰しています。これからも工夫をして、保護者と協力し、子どもたちが落ち着いて学習できる環境を目指していきたいと思います。

## **青少年の自立支援事業「そら」**

### **～多様なニーズに対応するために～**

平成 20 年度前期「そら」は、大きく 2 つのグループに分けて活動しました。一つは、昨年から継続の「そら」メンバーを中心にした活動で、結婚や出産をした 10 代の若者たちを対象に、子育て相談・国際結婚の手続き・定時制高校への入学など個別相談を行ったり、「秋葉原の事件」について話し合うグループワークをしたりすることができました。この話し合いでは、「犯人は孤独だった。たとえ一人でも話せる友だちがいれば…。」「日本人は頑張れば正社員になれるかもしれないのに、なぜこんなことをしたのか？」など、さまざまな意見を聴くことができました。

また、活動場所の第 2 集会所に来ることができない「そら」メンバーには、スタッフが家庭訪問し、「定住外国人のための専門学校入学」のチラシを届けたり、最近の様子などについて尋ねたりしました。家庭訪問を続けるうちに、青少年だけでなく保護者とも親しくなり、保護者とも直接話す機会を持つことができました。

もう一つは、学習を中心とした活動です。毎週水曜日の 6 時半からの時間帯に加えて、さらに子育て中のヤングママに対応するため、同じ曜日の午後 1 時から 2 時の時間帯でも活動しました。落ち着いた雰囲気の中で日本語能力検定試験の受験準備・高校定期テストの追試への対応・中学生の教科指導を実施しました。

昨年度、高校で学び続けることの意味を見出せないまま、退学してしまう青少年が多かったことを踏まえて、継続した学習支援の重要性を痛感しました。平成 20 年度後期の活動については、ただ、勉強するだけではなく、それぞれの青少年が自らの将来を考え、少しでも具体的な自分の未来像が描けるような言葉がけや活動を実施したいと考えています。

# 交流会

交流会は奇数月の第3土曜日に行われますが、今年度の第1回目は6月8日の通常総会の後に実施しました。この交流会では、総会に参加して下さった各関係者の方々とゆめの木教室に参加している子どもたちの保護者のみなさんとの懇談会をもちました。

保護者の方たちから子どもたちについて日ごろ不安に思っていることを話していただき、それに対して参加者の方々から適切な答えを頂きました。総会後の懇談会は昨年が続いて2回目ということもあって和やかな雰囲気の中、活発な意見交換ができたと思います。子どもたちのことを真剣に考えている保護者の方たちの思いが、参加して下さったみなさんに伝わったことを嬉しく思い、今後もこの機会を大切に持ち続けたいと思っています。

7月、9月の交流会でもスタッフと保護者の方たちとの懇談会を開いて、ゆめの木教室の話や子どもたちの進路についての話し合いをしました。毎回10人以上の保護者の方の参加があります。子どもたちの支援には保護者の方たちとの信頼関係が何よりも大切なため、交流会が今後もより充実したものになるよう努力していきたいと思います。ところで、毎回誕生日会を終えた子どもたちは、学生スタッフが準備してくれる工作やゲームをして楽しみますが、今年の大ヒットは「お化け屋敷」です。子どもたちは、スタッフが用意した要らなくなったカーテンや布切れを頭にかぶったり椅子にかけたりして、怖い雰囲気を一生懸命工夫して作りました。帰る時間になっても「もう一回、もう一回」とせがむほど、「お化け屋敷」は子どもたちの大のお気に入りになってしまいました。交流会は普段の教室では発散しきれない子どものパワーが爆発する場でもあります。

# ～NPO法人 子どもの国イベント写真～

6 月 ゆ め の 木 総 会



短期間での歌の練習でしたが総会で元気な歌声を披露してくれました！！



保護者・来賓・子どもの国関係者が話し合う場を持ちました。



総会終了後はみんな揃って記念撮影

## 2008年 6月14日 ビバ!ブラジルデー In 豊田スタジアム

ゆめの木の子どもたちも歌で参加しました。写真はこのときの模様です。



みんな協力し合いながら、素晴らしいハーモニーを創り出していました

### ～終わりに～

NPO 法人子どもの国では様々な活動を子どもたちの勉強を通じて様々な支援を展開しています。

ゆめの木教室を通して子ども達が自立した将来を築く支援が出来ればと考えています。

また、今年はブラジル移民 100 年の節目の年でも有ります。

昨今の景気動向から見れば道は険しいですが、活動を一層充実させる努力をしていきたいと考えています。